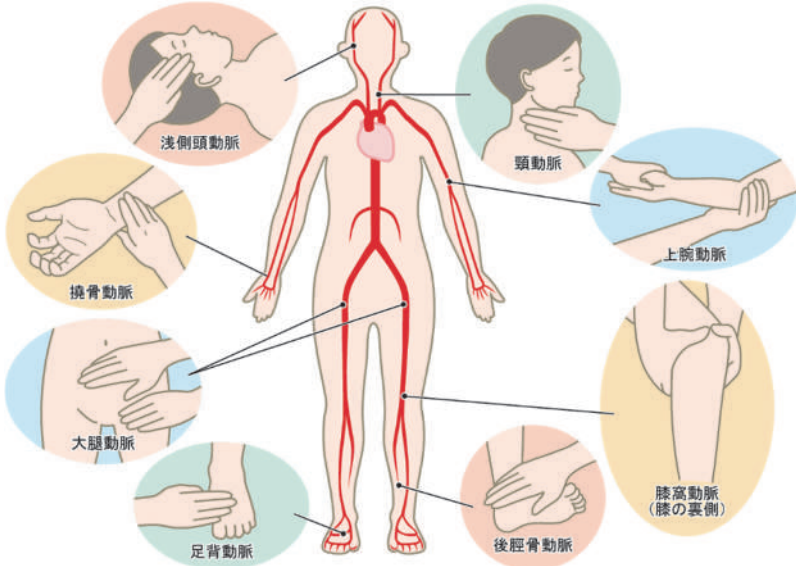


また、体表で触れて脈拍数を計測できる動脈には、一般に知られる頸動脈、撓骨動脈のほか、上腕動脈、大腿動脈、膝窩動脈（膝の裏側）、後脛骨動脈、足背動脈があります。



② 体循環（大循環）

心臓の左心系では、血液を全身に循環させており、《体循環》、または大循環と呼ばれます。体循環は、まず体内を巡って酸素と二酸化炭素を交換した静脈血が大静脈から右心房に入ります。そして、右心房から右心室に送られた静脈血が肺に送られ、二酸化炭素を捨て、酸素を取り込んだ動脈血になります。動脈血は左心房に迎え入れられ、左心室に入り、大動脈から全身へと送り出されていきます。

③ 肺循環（小循環）

心臓の右心系では、心臓と肺の間でのみ血液が運搬されます。この循環を《肺循環》、または小循環といいます。全身をめぐる酸素を失った血液は右心房に迎え入れられ、右心室から肺動脈を通過して肺に送られます。肺でガス交換を行って動脈血に生まれ変わった血液は、肺静脈を通過して、左心房に輸送されます。肺静脈は、全身で唯一、動脈血が流れる静脈です。